

平成25年行政事業レビューシート							(厚生労働省)		
事業名	手話通訳技術向上等研修等		担当部局庁	社会・援護局障害保健福祉部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和56年度		担当課室	企画課自立支援振興室		君島 淳二			
会計区分	一般会計		政策・施策名	Ⅷ-1-1 障害者の地域における生活を支援するため、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	障害者基本計画、重点施策実施5か年計画、平成19年3月31日発障発第0330008号字幕入り映像ライブラリー等製作貸出事業について(通知)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	聴覚障害者及び盲ろう者の福祉向上を図るため、手話通訳技術向上等研修、手話研究・普及、字幕入り映像ライブラリー等製作貸出、要約筆記者指導員養成研修等及び盲ろう者向け通訳者養成研修等の事業を行い、コミュニケーション支援体制の充実を図り、もって聴覚障害者及び盲ろう者の社会参加の促進に資することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	実施主体である団体(3団体)が行う手話通訳技術向上等研修、字幕入り映像ライブラリー等製作貸出、盲ろう者向け通訳者養成研修等の事業に要する費用に対して委託費を交付している。								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
		当初予算	102	117	140	149	151		
		補正予算							
		繰越し等							
	計	102	117	140	149	151			
	執行額	93	117	140					
執行率(%)	91.2%	100%	100%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	当該事業は、聴覚障害者等の福祉の向上を図るため手話通訳者等の指導者養成研修や現任研修等を行う事業のため、定量的な成果目標は示すことができない。		成果実績		—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	手話通訳技術向上等研修修了者		活動実績 (当初見込み)	人	230 (230)	242 (230)	479 (230)	— (230)	
	盲ろう者向け通訳者養成研修修了者		活動実績 (当初見込み)	人	115 (115)	120 (115)	110 (115)	— (115)	
単位当たりコスト	67,878(円/人)		算出根拠	単位当たりコスト=24年度手話通訳技術向上等研修事業実績額/24年度修了者数=32,513千円/479人					
	174,198(円/人)			単位当たりコスト=24年度盲ろう者向け通訳者養成研修事業実績額/24年度修了者数=19,162千円/110人					
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	全国手話研修センター	53	54	統一単価改定による増					
	聴力障害者情報文化センター	36	36						
	全国盲ろう者協会	59	60						
計	149	151							

事業所管部局による点検						
項目		評価	評価に関する説明			
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	聴覚障害者等の意思疎通を支援する者の指導者養成及び現任研修を実施することにより、全国の聴覚障害者等の社会参加を促進するものであり、国費を投入して実施すべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	障害者基本法第22条において、「国は、障害者が円滑に情報を取得し及び利用し、その意思を表示し、並びに他人との意思疎通を図ることができるようにするため、障害者の意思疎通を仲介する者の養成及び派遣等が図られるよう必要な施策を講じなければならない。」とされており、予算規模や事業内容を鑑みて、国で実施すべき事業である。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		-			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	事業内容を十分に実現しうる団体に対して、委託費を交付している。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○	事業実績額に見合う活動成果をあげている。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業に必要な経費のみが計上され、適切に事業が実施されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	適切な委託先への事業の委託により、効果的に事業目的を果たしている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	委託先団体において、当初の事業計画に沿って事業活動が実施されている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	養成された者は、各都道府県等において意思疎通を支援する者を養成する指導者として活躍している。		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>○当該委託費は、団体毎に交付決定・交付額の確定を行っており、事業毎に適正に執行されている。</p> <p>○活動実績の一例として、手話通訳技術向上等研修修了者は平成24年度において当初見込みを大幅に上回る実績をあげるなど、委託先の各団体において、委託内容に沿った事業実績をあげ、事業の目的を果たしている。</p>					
外部有識者の所見						
引き続き適正執行に努めること。(長崎、井出)						
行政事業レビュー推進チームの所見						
通現り状	本経費については、事業の必要性からの評価としても、概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めること					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
通現り状	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0504	平成23年	0457	平成24年	0400

(24年度実績)

厚生労働省
140百万円

【補助(委託)】

聴覚障害者の福祉向上を図るため手話通訳技術向上等研修等事業に対し補助

A.(福)全国手話研修センター
44百万円

B.(福)聴力障害者情報文化センター
36百万円

C.(福)全国盲ろう者協会
59百万円

・手話通訳技術向上等研
修事業
・手話研究・普及等事業

・字幕入り映像ライブラリー等
製作貸出事業
・要約筆記者指導員養成研修等事業
・手話通訳士緊急確保事業

・盲ろう者向通訳者養成
研修等事業
・盲ろう者向け生活訓練
等事業

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万
円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 においてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(福)全国手話研修センター			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
賃金	賃金職員	12			
諸謝金	研修講師謝金、手話研究委員謝金等	10			
旅費	研修講師、手話研究委員旅費	10			
その他	案内通知等発送、機材借料等	8			
会場借料	研修会会場借料等	2			
印刷製本費	研修会テキスト、案内通知等	2			
計		44	計		0
B.(福)聴力障害者情報文化センター			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	テロップ作成、字幕挿入、データベース開発等	10			
諸謝金	字幕制作者謝金、講師謝金、検討委員会等	7			
人件費	非常勤職員手当、賃金	7			
その他	消耗品費、通信運搬費、著作権料等	6			
機器借料	字幕挿入装置	3			
旅費	講師旅費、検討委員会旅費等	2			
会場借料	研修会会場借料等	1			
計		36	計		0
C.(福)全国盲ろう者協会			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	職員俸給	26			
賃金	賃金職員	10			
諸謝金	研修会企画委員謝金等	7			
その他	通信運搬費、消耗品費等	6			
印刷製本費	研修会テキスト、広報誌、報告書印刷	5			
旅費	研修会企画委員旅費等	3			
会場借料	研修会会場借料等	2			
計		59	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国手話研修センター	手話通訳技術向上等研修事業、手話研究・普及等事業	44		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	聴力障害者情報文化センター	字幕入り映像ライブラリー等製作貸出事業、要約筆記者養成指導員研修等事業、手話通訳士緊急確保事業	36		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	全国盲ろう者協会	盲ろう者向通訳者養成研修等事業、盲ろう者向け生活訓練等事業	59		